

1 本年度の重点教育目標

「自ら学び 自ら考え 自ら進む子」

2 本年度の取組の重点

「凜とした空気と元気を感じる学校」をつくるための「Action 5」  
 (1) Action 1 「高める」 教職員の資質能力と子どもの能力の向上を図る。  
 (2) Action 2 「守る」 教職員と子どもを守る。  
 (3) Action 3 「見付ける」 自己理解や他者理解を図る。  
 (4) Action 4 「変える」 旧態依然から脱却し、良いものに改善する。  
 (5) Action 5 「整える」 組織の機動力を生かし、統一した取組を展開する。

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価	主な意見(改善策など)
① バランスのとれた「生きる力」の育成	全ての子どもの学びを保障する教育課程の編成・実施・評価・改善に努め、知徳体のバランスのとれた「生きる力」を育成する。 ○学力の充実(確かな学力) ○心力の充実(豊かな心) ○体力の充実(健やかな体)	b	・「主体的、対話的で深い学びの実現」に向けた授業改善の推進をはじめ、学習指導の一層の工夫改善に努める。 ・道徳の時間、全教育活動を通じて道徳実践力を高めるため、計画的に指導の充実に努める。 ・新体力テスト等による実態把握に努め、体育授業、休み時間等での日常的な指導の充実に努める。	A	A	
② 教職員の資質能力の向上	教職員としての誇りと責任及び自覚をもち、子どもたちの成長のために研修活動を通して、自己の資質能力の向上に努める。 ○豊かな人間性・専門性・社会性を身に付けた「教師」としての不断の努力の継続 ○共に高め合う研修活動の確立と実践、業務推進の工夫改善	b	・学校課題、授業に直結する内容を主とした、学校全体で取り組む研修を推進する。 ・教員間で学び合う研修とともに、要請訪問等、外部からの指導助言を生かした研修を推進し、授業改善に努める。	A	A	
③ 保護者や地域住民に信頼される教育活動の推進	学年間や分掌間の連携を密にし、組織としての活性化を図るとともに、異校種間との交流を充実させ、保護者や地域住民に信頼される教育活動を展開する。 ○「学校運営協議会」事業の立案と円滑な推進 ○近隣の保育園、小学校、中学校及び町会との交流の実施 ○保護者、地域住民及び、関係機関との連携を通じた、中・小連携の工夫改善	b	・学校力の向上を図るため、組織的な体制を構築し、日々の教育活動において一層の工夫改善に努める。 ・各種情報の適切な発信と受信を心掛け、美原町会及び東富岡町会との連携を積極的に図るとともに、地域や近隣校、関係機関との一層の効果的連携に努める。 ・教育的効果を一層高めるため、幼保中との持続可能な連携を推進し、地域の人材や資源、施設等の有効活用に努める。	A	A	
④ 業務改善の推進	目指す学校の姿の具現化を図る「Action 5」を踏まえた学級及び分掌経営の工夫改善を通して、開かれた学校づくりに向けた責務を果たす。 ○「Action 5」を意識した学級経営及び分掌経営の計画立案と積極的な推進 ○教育活動における保護者等への「説明責任」及び「結果責任」の徹底 ○学校改善に生かす学校評価の工夫改善	b	・超過勤務時間の縮減を意識した働き方に努めるとともに、校務支援システムの活用により、業務の一層の効率化を図る。 ・コロナ禍における、持続可能で充実した教育活動の在り方を検討するとともに、各分掌の細目についても見直しを図り、効果的で効率的な組織づくりを目指す。	A	A	
⑤ 保護者や地域住民との連携を密にした教育活動や安全確保	危機管理体制の強化といじめのない学校づくりを目指し、保護者や地域住民と連携した「安全で楽しい教育環境づくり」に努める。 ○保護者や地域住民との情報の共有化 ○子どもの健康と安全、危機管理等における家庭と地域との協働した取組の推進 ○いじめや不登校の根絶を図るための支援体制の充実	b	・コロナ禍での状況を鑑み、行事をはじめとする教育活動の観覧等を設定するなど、保護者、地域住民に学校や児童の現状を把握してもらえよう努める。 ・学校と保護者、地域住民とのつながりを深め、活動の幅を広げるために、町会と連携した校外学習の充実や、保護者、地域住民の教育活動への参加等、具体的な活動の積み上げを図る。	A	A	

■ 自己評価達成状況

a	ほぼ達成できた (8割以上)
b	概ね達成できた (6割以上)
c	十分ではない (4割以上)
d	達成できなかった (4割未満)

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。